

Q4-1 支川の氾濫の特徴について教えてください。

○ 令和2年7月豪雨の際には、球磨川の支川でも大規模な氾濫が発生しました。

○ 球磨川水系の県管理河川における家屋浸水が発生した河川の氾濫については熊本県が現地調査をしております。その結果を下記の表にとりまとめております。

圏域	市町村	1次支川	2次支川	氾濫(越水・溢水)	
				球磨川本川 バックウォーター※1	支川自己流
中流	八代市	古麓川	-		
		深水川	走水川	●	
		中谷川	-	●	
		油谷川	-	●	●
		百済木川	鶴喰川	●	●
		市之俣川※2	-	●	
	芦北町	吉尾川	大尼田川	●	●
	球磨村	川内川※2	-	●	●
	芦北町	天月川	-	●	●
		漆川内川	-	●	
		告川※2	-	●	
	球磨村、芦北町	芋川※2	庄本川※1	●	
	球磨村	中国川※2	-	●	●
		那良川※2	-	●	
人吉		鶴喰川※2	-	●	
		小川※2	-	●	●
	人吉市、球磨村	馬水川	-	●	
	人吉市、山江村	万江川	-	●	●
	人吉市	出水川	-	●	●
	人吉市、山江村	福川	御溝川	●	●
	人吉市	鹿目川	-	●	
	人吉市	永野川	-	●	
	人吉市、山江村	山田川	西川内川、鬼木川、泉田川	●	
川辺川	人吉市	胸川	-	●	
	人吉市	鳩胸川	大川間川	●	
川辺川	相良村 五木村 八代市	川辺川	葉木川、樅木川、にがこべ川、山の津川、さかいの谷川、小原川、小鶴川、梶原川、日当川、一の股川、入鴨川、五木小川、登谷川、飯干川		●
上流	人吉市、錦町	小さで川	高柱川	●	
	錦町	大谷川	-		
	錦町	野間川	-		
	錦町	水無川	-		
	あさぎり町	銅山川	-		
	あさぎり町	田頭川	-		●
	あさぎり町	免田川	宮川内川、大木川		
	あさぎり町	井口川	-		
	あさぎり町	阿蘇川	-		
	あさぎり町、多良木町	柳橋川	奥野川、伊良目川		●
	多良木町	小椎川	宮ヶ野川		
	多良木町	牛繰川	-		
	多良木町、湯前町	仁原川	津留川		
	湯前町	都川	牧良川		
	湯前町	小川内川	-		
	湯前町、水上村	球磨川 (県管理区間)	-		
	水上村	横才川	-		
	水上村	白水川	白水滝川、魚帰川		
	水上村	湯山川	大平川、北目川		
合計				25河川	13河川

※1 球磨川本川の水位上昇の影響により、支川から氾濫が生じた現象

※2 権限代行河川

※3 2次支川を含む

図 球磨川水系の県管理河川における令和2年7月豪雨の氾濫の特徴（熊本県による調査結果より引用）

- 支川の氾濫は本川の水位上昇により洪水が流れにくくなるバックウォーター現象による氾濫が支配的であったと考えられますが、バックウォーター現象以外にも、支川の自己流も氾濫の要因であったと整理しています。
- また、川内川や中園川、小川では、河道が土砂埋塞したことによる氾濫も確認されています。
- 令和２年７月豪雨における支川の氾濫の特徴については、[こちら](#)をご覧ください。
- なお、令和２年７月豪雨における支川の氾濫の特徴については、国土交通省八代河川国道事務所のホームページ「[令和３年度第２回球磨川水系学識者懇談会](#)」に掲載しています。